

部門紹介

機能性素材（B to B事業）

鶏卵・野菜・緑茶・乳酸菌など、私たちの身近な食品素材から生理活性物質を探索し、科学的考証に基づいた素材開発を行っています。

通信販売（B to C事業）

当社及び株式会社フューチャーラボのサプリメント、化粧品等の各製品をテレビ、ラジオ等の広告媒体を通じて販売しております。

バイオメディカル事業

創薬事業、医薬品・診断薬開発目的のための抗体受託作製、及び各素材・製品等に関して分析・効能評価試験を行っています。

連結財務諸表

▶▶ 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

科 目	当第2四半期末 (平成31年1月31日現在)	前期末 (平成30年7月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	6,149,569	4,729,605
固定資産	1,725,798	1,600,766
有形固定資産	797,395	734,321
無形固定資産	258,231	269,188
投資その他の資産	670,171	597,256
資産合計	7,875,368	6,330,371
(負債の部)		
流動負債	2,629,779	1,425,754
固定負債	1,675,478	994,456
負債合計	4,305,257	2,420,210
(純資産の部)		
株主資本	3,555,345	3,873,733
資本金	2,031,604	2,031,278
資本剰余金	1,810,402	1,882,910
利益剰余金	△ 286,661	△ 40,455
その他の包括利益累計額	10,841	15,192
新株予約権	3,924	4,032
非支配株主持分	－	17,202
純資産合計	3,570,110	3,910,160
負債・純資産合計	7,875,368	6,330,371

▶▶ 四半期連結損益計算書

（単位：千円）

科 目	当第2四半期（累計） (平成30年8月1日から 平成31年1月31日まで)	前第2四半期（累計） (平成29年8月1日から 平成30年1月31日まで)
売上高	5,188,524	3,673,952
売上原価	937,077	725,633
売上総利益	4,251,446	2,948,318
販売費及び一般管理費	4,539,575	3,810,488
営業利益	△ 288,128	△ 862,169
営業外収益	43,850	48,495
営業外費用	5,272	19,064
経常利益	△ 249,551	△ 832,738
特別利益	32,301	4,158
税金等調整前四半期純利益	△ 217,249	△ 828,580
法人税等	20,992	11,631
四半期純利益	△ 238,242	△ 840,211
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,963	4,711
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 246,206	△ 844,922

▶▶ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科 目	当第2四半期（累計） (平成30年8月1日から 平成31年1月31日まで)	前第2四半期（累計） (平成29年8月1日から 平成30年1月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	323,851	△ 215,452
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 91,539	△ 135,256
財務活動によるキャッシュ・フロー	926,533	△ 233,277
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 736	△ 972
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,158,108	△ 584,958
現金及び現金同等物の期首残高	2,934,348	2,861,102
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,092,457	2,290,343

株主の状況

株式情報

（平成31年1月31日現在）

- 発行可能株式総数 68,800,000株
- 発行済株式の総数 29,035,400株
- 株主数 8,637名
- 大株主の状況

株 主 名	持株数	持株比率
金 武 祐	3,633,000株	12.51%
BNYMSANV RE GCLB RE JP RD LMGC	1,013,900株	3.49%
野村證券株式会社	790,320株	2.72%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	758,900株	2.61%
江崎グリコ株式会社	732,000株	2.52%
益田和行	713,000株	2.45%
鈴木千尋	649,100株	2.23%
金 英 一	649,000株	2.23%
野村證券株式会社 （常任代理人 株式会社三井住友銀行）	603,480株	2.07%
金 み れ い	590,000株	2.03%

株主メモ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年7月31日
中間配当金受領株主 確定日	毎年1月31日
定時株主総会	毎年10月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告により掲載いたします。

（ご注意）

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。

会社概要

会社概要

- 社 名 株式会社ファーマフーズ
- 本 社 〒615-8245 京都市西京区御陵大原1番地49
- 電 話 075-394-8600
- 設 立 平成9年9月12日
- 資 本 金 20億3,160万円（平成31年1月31日現在）
- 従業員数（連結） 129名（平成31年1月31日現在）
- 主要な事業内容 機能性食品素材の開発・販売、通信販売、バイオメディカル事業

役 員

（平成31年1月31日現在）

代 表 取 締 役 社 長	金 益 田 武 祐
常 務 取 締 役	堀 江 典 二 行
常 務 取 締 役	青 笹 正 義
取 締 役	佐 村 信 哉
社 外 取 締 役	山 根 哲 郎
社 外 取 締 役	伊 井 貴 史
常 勤 監 査 役	辻 本 真 也
社 外 監 査 役	八 田 信 男



株式会社ファーマフーズ

第22期 中間報告書

平成30年8月1日から平成31年1月31日まで

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第22期第2四半期連結累計期間（平成30年8月1日から平成31年1月31日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

事業の概況

当社グループは「医薬」(Pharmaceuticals)と「食」(Foods)の融合「ファーマフーズ (Pharma Foods)」を実現するため、「Bio Business Triangle」をコンセプトに、「バイオメディカル (Bio medical)」「機能性素材 (Bio seeds)」「通信販売 (Bio value)」の3事業を主要事業としております。

バイオメディカル事業が属する製薬業界におきましては、抗体医薬等の分子標的薬の研究開発が、引き続き活況を呈しております。当社は、独自の鳥類由来抗体取得技術「ALAgene® technology (アラジンテクノロジー)」により、従来技術では取得困難な創薬ターゲット分子に対する高親和性の抗体取得が可能です。鳥類由来のヒト化抗体等を用いて、「自己免疫疾患」「悪性腫瘍」を対象疾患とした抗体医薬の研究開発を行っています。

「自己免疫疾患プロジェクト」においては、田辺三菱製薬株式会社と自己免疫疾患治療を目指した抗体医薬に関する共同研究を行っており、開発段階への早期進展を目指しております。本共同研究は、当社が創出した自己免疫疾患の創薬ターゲット分子に対する抗体を、両社の技術で改良し、新たな抗体医薬品の創製を目指すものです。本共同研究期間中、当社は田辺三菱製薬株式会社から契約一時金及び研究成果に応じたマイルストーンを受領します。本共同研究から開発段階にステージが進展した場合、別途、独占的ライセンス契約を締結し、契約一時金、開発段階に応じたマイルストーン及び販売額に応じた一定のロイヤリティーを得ます。

「悪性腫瘍プロジェクト（標的分子：FSTL1）」においては、国立がん研究センターとの共同研究を継続しております。同センターが大量に保有する各種ヒト悪性腫瘍組織等について、FSTL1の発現解析を順次行っております。また、当社が保有する抗FSTL1抗体を用いた各種悪性腫瘍細胞株に対する抗腫瘍試験も並行して行っております。今後も、共同研究を推進しつつ、製薬企業との提携交渉を継続してまいります。

「骨形成プロジェクト」では、卵黄由来の骨形成ペプチド「リプロタイト」が国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の「平成30年度 難治性疾患実用化研究事業」に、東京大学との共同研究事業として選定されております。骨形成不全症の治療薬の候補として、「リプロタイト」の作用機序の解明と、動物モデルでの薬効評価を行いつつ、製薬企業との提携交渉を行ってまいります。

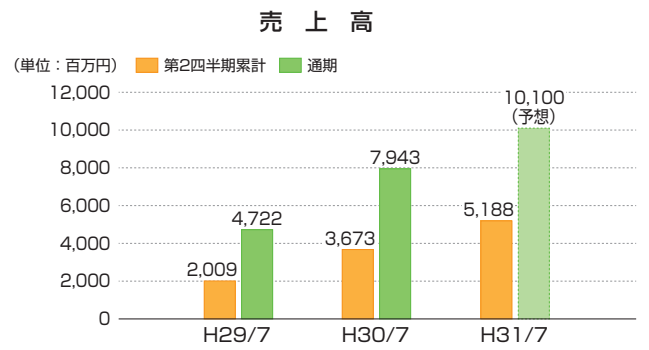
また、バイオメディカル事業では、新たな創薬ターゲットに対する抗体作製等を行いつつ、外部企業からの分析・効能評価試験を受託しております。

これらの結果、バイオメディカル事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は156百万円（前年同期は11百万円の売上高）、セグメント利益は24百万円（前年同期は29百万円のセグメント損失）となりました。

機能性素材事業が属する機能性表示食品、健康食品市場は、健康維持、増進への高い意識を背景に、市場規模が拡大しております。当社の主力商品である「GABA（ギャバ）」の売上が順調に推移したことを受け、増収、増益を達成しております。

国内においては、「GABA」を採用した機能性表示食品の販売の増加により、売上が堅調に推移しております。平成27年4月から開始された機能性表示食品制度の届出件数は、平成31年1月末時点で1,747件と着実に増加しており、認知度が広がっております。その中で「GABA」の届出件数は199件であり、全品目中で第2位の採用実績を誇ります。「ストレス緩和」「疲労感の軽減」「睡眠の質の改善」及び「血圧」の機能性表示に対応可能な「GABA」は、引き続き

決算ハイライト



平成31年4月

代表取締役社長

金 武 祐

多くの食品・飲料メーカーから引き合いを受けており、今後も一層の伸長が見込まれます。また、海外においても、北米、中国ともに好調に推移しております。

骨形成成分である「ボーンベップ」は、ロート製薬株式会社及びオハヨー乳業株式会社より、それぞれ「セノビック」ブランドの粉末飲料、ヨーグルトとして展開されているほか、中国への販売も順調に推移しております。

卵黄由来の育毛成分である「HGP (Hair Growth Peptide)」は、流通・健康食品メーカー等で採用が進展しております。従来にはない経口摂取による育毛素材として関心を集めており、今後も一層の拡大に努めてまいります。

このほか、酵母由来の美白素材「セラブレオン」が、サプリメント原料、化粧品原料として広がりを見せ、アジア市場を中心に大きく伸びを見せております。

以上の結果、機能性素材事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、889百万円（前年同期比28.7%増）、セグメント利益は405百万円（前年同期比86.0%増）となり、大幅な増収増益を達成いたしました。

通信販売事業が属する健康食品、化粧品市場は、中高年齢層を中心とした健康、美容への意識の高まりを背景に、市場が拡大しております。当社は、自社で独自に開発した機能性素材を配合したサプリメント（「タマゴ基地」ブランド）及び化粧品（「SOGNANDO」(ソニヤンド) ブランド等）を、当社及び子会社の株式会社フューチャーラボにおいて販売しております。

サプリメントの分野では、膝関節用サプリメント「タマゴサミン」を中心に、テレビ、ラジオ、WEB等で積極的に広告宣伝を行っております。テレビ広告では、BS局、CS局及び地方局での放送に加え、新たに主要放送局にも展開を広げており、今後も放送枠の拡大を進めてまいります。

また、クロスセルにも取り組んでおり、膝サポーター「ひざ衛門」等を組み合わせ販売することで、顧客単価の向上が進展しております。

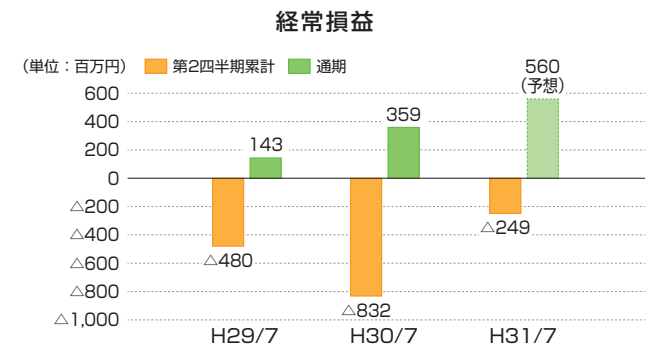
化粧品の分野では、活性卵殻膜を配合した美肌クリーム「珠肌のうみつ」「珠肌ランシエル」等の販売拡大に注力しました。また、QVCやショッピングチャンネル等のTVショッピング専門チャンネルでの化粧品販売も積極的に展開しました。今後も効率を重視した積極的な広告宣伝、コールセンター機能の拡充、CRM(Customer Relationship Management)の強化等の諸施策を推進し、事業拡大と収益化を進展させてまいります。

以上の結果、通信販売事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、4,142百万円（前年同期比39.4%増）と、前年同期比で大幅な増収となりました。損益面では、将来を見据えて広告宣伝費3,045百万円（前年同期は2,631百万円）を計上した結果、セグメント損失は510百万円（前年同期は862百万円のセグメント損失）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,188百万円（前年同期3,673百万円）、営業損失は288百万円（前年同期は862百万円の営業損失）、経常損失は249百万円（前年同期は832百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は246百万円（前年同期は844百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

平成31年7月期の連結業績見込につきましては、売上高10,100百万円、営業利益510百万円、経常利益560百万円、親会社株主に帰属する当期純利益340百万円を見込んでおります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



TOPICS “骨形成ペプチド” 「リプロタイト」 日本特許取得

▶骨芽細胞増殖促進活性を有するペプチドおよびその利用 (特許第6411455号)

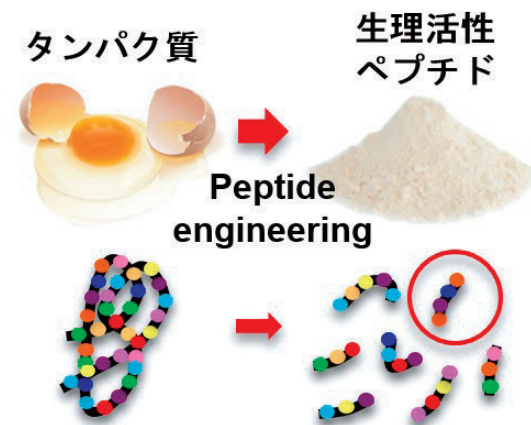
リプロタイト®は、卵黄から独自技術で発見した、動物試験で骨形成促進作用を有するペプチドです。

難治性骨疾患の治療薬候補として、東京大学と共同研究を推進しております。

この共同研究は、平成30年3月、医薬品研究開発の国家戦略の司令塔である、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の「難治性疾患実用化研究事業」に採択されています。

平成31年2月に行われた成果報告会において、平成30年度の事業で得られたデータが発表されました。

今年度においては、骨形成不全症の2種類のタイプのモデルマウスへの投与実験により、リプロタイトによる骨脆弱性改善効果の検討を開始しました。細胞培養系における検討を通じて、骨芽細胞や間葉系幹細胞の分化や増殖に対するリプロタイトの作用を明らかにしつつあります。これまでに得られたデータを踏まえ、当初計画に沿って今後も検討を進める予定です。



TOPICS “食べて育毛”の注目素材 「HGP」 日本および米国特許取得

▶発毛及び育毛促進剤並びにそれらの利用 (特許第6393772号)

▶HAIR REGROWTH AND GROWTH PROMOTER AND USE THEREOF
(US 10,154,684 B2)

タマゴから羽毛をまとったヒヨコが誕生することに着目し、当社が発見した新規育毛成分「HGP®」。これまでにない、新発想の育毛素材として、注目を集めております。

日本とアメリカで新規性が認められた育毛素材の今後の一層の拡大にご期待ください。

メンズボリュームサプリメント
PROTAGA (プロタガ)



株式会社VUEN

TOPICS “美白”素材「セレプロン」 東南アジアで拡大中

▶セレプロン®とは？

メラニン合成を抑え、美白効果が期待できる酵母エキス粉末です。

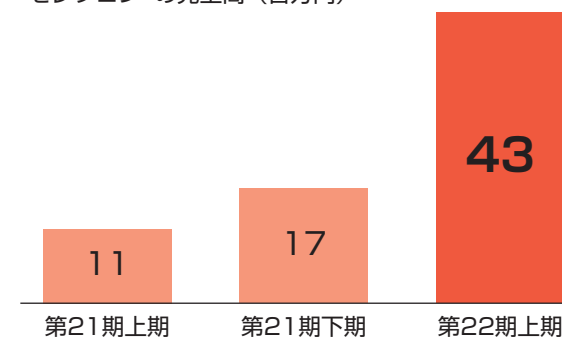
- ・細胞試験においてメラニン合成抑制効果が示されています。
- ・ヒトを対象とした臨床試験において肌の美白効果が示されています。
- ・水によく溶け、幅広い食品や化粧品に応用できます。



マレーシアで販売されているセレプロン®入りサプリメント

▶東南アジアを中心に販売増加が顕著に

セレプロン®の売上高 (百万円)



「セレプロン®」はハラル認証を取得済みで、粉末飲料に配合するなどの用途で販売しています。今後もアジアを中心に機能性素材の海外売上高の増加を目指します。

TOPICS アジアの女性15万人が選ぶ COSMERIA of the Year 受賞！

『デルマQⅡ マイルドピーリングゲル ローズ』は、当社グループで化粧品事業を担う（株）フューチャーラボの主力商品です。



この度、日本の化粧品が好きなアジア女性の為の口コミサイト「COSMERIA (コスメリア)」において、2018年グランプリとピーリング/毛穴ケア部門第1位を獲得しました！



デルマQⅡ マイルドピーリングゲル

主な受賞理由

- ・投稿された口コミの数・コメントの質
- ・ユーザー投票による得票数と推薦コメントの質
- ・SNSにおける拡散・COSMERIAにおける販売

※今回のCOSMERIA of the Yearは東南アジア8カ国（香港・台湾含む）全体で全5商品カテゴリー、各第3位まで表彰されました。
(<https://www.cosmeria.me/>)